

使用性は... (10人のモニターがマグボトルを実際に触って、評価しました)

「本体や取扱説明書の表示のわかりやすさ」や「蓋の開閉のしやすさ」、「給水等のしやすさ」、「本体や飲み口の形状」、「手入れのしやすさ」等の項目で評価が高かった銘柄の特徴は以下のとおり。

- ・ 取扱い説明書が多色刷り、イラストが入っているもの
- ・ 蓋の開閉に力が要らず、ロック方法が分かりやすいもの
- ・ 開口部が大きいもの
- ・ 滑りにくい材質で軽いもの、飲み口に氷止めが付いているもの
- ・ 開口部が大きく、パッキンなどの部品が着脱容易なもの

購入時のアドバイス

・ モニターによる使用性テストにおいて評価が高かった、取扱説明書が多色刷りやイラスト入りでわかりやすいもの、蓋の開閉がしやすくロック状態がわかりやすいもの、内口径が大きく給水や手入れがしやすいもの等を選びましょう。

・ 銘柄によって容量や保温・保冷効力、ロック方法等が異なるため、取扱説明書等を確認し自分に合ったものを選びましょう。

テスト結果については
富山県消費生活センターホームページ内「新着情報」
も参考にしてください。

http://www.pref.toyama.jp/branches/1731/pdf/H30syohin_test.pdf

使用時のアドバイス

- ・ 断熱性が高い製品であるため、表面の温度で内容物の温度を判断せずに、熱い飲料を直飲みする場合にはやけどに注意が必要です。
- ・ 規定量を超える量を入れると水漏れする可能性があるため、蓋をしっかり閉めるだけでなく、飲料を入れる量にも注意しましょう。
- ・ 内容量が少ないと、表示どおりの保温・保冷効力が得られないため、用途に応じて、飲料は規定量程度入れましょう。
- ・ 内圧の上昇や内部の腐食を防ぐために、ドライアイスや炭酸飲料、みそ汁等の塩分が多い食品など、取扱説明書で注意喚起されている飲料は入れてはいけません。
- ・ 高温の飲料を入れて本体表面が熱くなった場合、真空部等に異常が生じている可能性があるため、すぐに使用を止めましょう。



お問い合わせは

富山県消費生活センター

〒930-0805 富山市湊入船町6-7 (富山県民共生センター1階)
TEL (076) 432-2949 FAX (076) 431-2631

富山県消費生活センターホームページ
<http://www.pref.toyama.jp/branches/1731/1731.htm>

マグボトル

2019

商品テスト情報

これらのマグボトルをテストしました



保温・保冷機能がついているステンレス製携帯用魔法瓶(以下「マグボトル」という。)は、手軽に様々な飲み物を持ち運ぶことができるため、広く普及しています。一方で、蓋を閉めていたにもかかわらず中身が漏れた、期待していたほどの保温・保冷機能がなかった等の苦情事例もあります。

そこで、北陸三県(富山県、石川県、福井県)の消費生活(支援)センターが共同で行った、マグボトルの表示および安全性や性能、使用性のテスト結果をもとに、購入時や使用時の留意点をお知らせします。

家電量販店、雑貨店、ホームセンター等の店舗で販売されている保温・保冷両用で実容量が0.35L程度の製品を目安としました。

表示は...

家庭用品品質表示法雑貨工業品表示規程（以下「表示規程」という。）に定められている「実容量、保温効力、保冷効力、材料の種類、使用上の注意、表示者名等」は、全銘柄で表示されていました。

使用上の注意の主な内容として、

- ・火のそばに置かない
- ・中栓及び蓋は確実に閉めて使用する
- ・飲み物は、中栓下端より少な目に入れる
- ・子供のいたずらに注意する
- ・ドライアイス又は炭酸飲料は入れない
- ・丸洗いをしない（ただし、丸洗いでできる製品については、洗い方に係る注意事項を記載する）

等が、全銘柄で記載されていました。

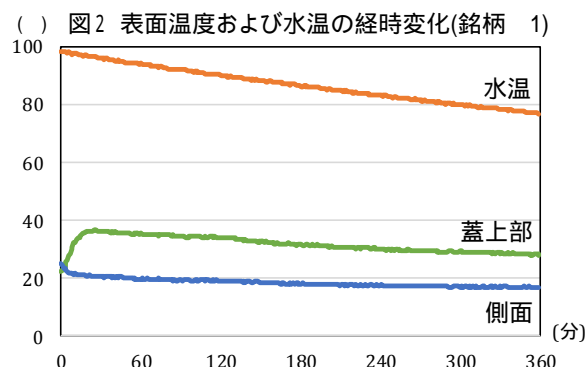
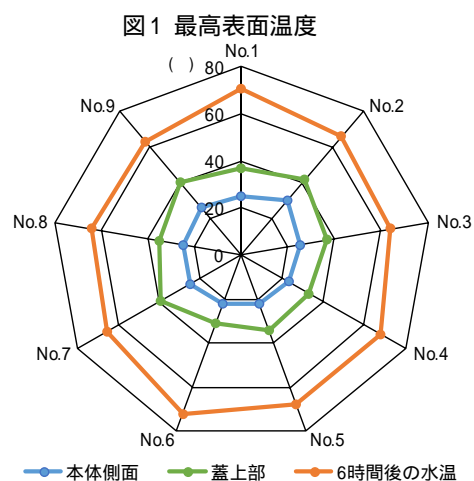
任意の表示として、「電子レンジで加熱しない」、「落としたり、ぶついたりして強い衝撃を与えない」旨が全銘柄で、「飲み物を入れる目的以外では使用しない」、「牛乳、乳飲料、果汁を入れない」、「みそ汁、スープなど塩分を多く含むものを入れない」等の内容が8銘柄で記載されていました。

表面温度は...

沸騰水を規定量入れたマグボトル本体側面および蓋上部の表面温度を、 20 ± 2 の環境で6時間継続して測定したところ、本体側面の表面温度は最高30に、蓋上部は最高42まで上昇しました。（図1）

表面温度および水温の経時変化を図2に示します。蓋上部は20～30分に最高温度になった後に緩やかに低下し、本体側面は沸騰水を入れた直後に最高温度になった後に速やかに室温まで低下しました。全銘柄で同様の傾向であり、沸騰水を入れた直後であっても本体側面の温度は30以下でした。

このようにマグボトルは断熱効果が高く、表面に触れてやけどをすることはないと考えられますが、表面の温度から内容物の温度を判断することができないため、熱い飲料を入れて直飲みする場合にはやけどに注意する必要があります。



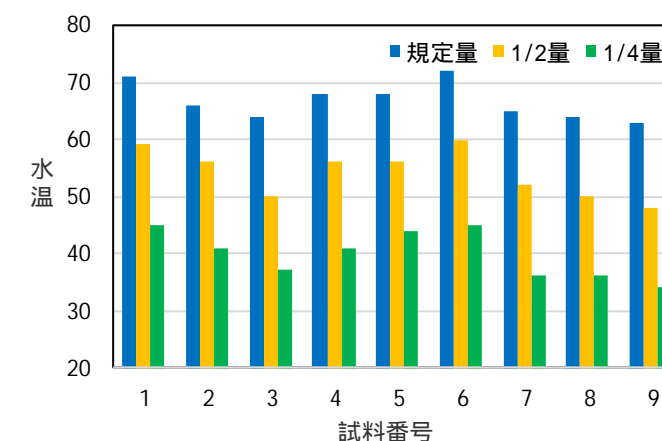
保温効力は...

JISの保温効力試験に基づき、室温 20 ± 2 の部屋に2時間以上開栓した状態で放置したマグボトルに規定量の沸騰水を入れ、水温が 95 ± 1 になった時に蓋を閉め、6時間後の水温を測定しました。水温は63～72となり、全銘柄でJISに規定された保温効力（容量0.3L未満で47以上、0.3以上0.4L未満で53以上）を満たしていました。

また、全銘柄でそれぞれの表示値以上の保温効力でした。

参考として、水量が規定量の1/2および1/4の場合について試験をしたところ、1/2量の場合は48～60（規定量時の水温から10～15低下）、1/4量の場合は34～45（規定量時の水温から24～29低下）となり、水量が減少するにつれて保温効力も低下しました。表示どおりの保温効力を得るには、規定量程度の飲料を入れる必要があります。

図3 水量と6時間後の水温(保温時)



保冷効力は...

JISの保冷効力試験に基づき、室温 20 ± 2 の部屋に2時間以上開栓した状態で放置したマグボトルに規定量の冷水を入れ、水温が 4 ± 1 になった時に蓋を閉め、6時間後の水温を測定しました。水温は7～9となり、全銘柄でJISに規定された保冷効力（0.4L未満で13以下）を満たしていました。また、全銘柄でそれぞれの表示値以上の保冷効力を示しました。

保温効力試験と同様に、水量が規定量の1/2および1/4の場合について試験をしました。1/2量の場合は7～11（規定量時の水温から1～3上昇）、1/4量の場合は10～15（規定量時の水温から3～7上昇）となり、水量が減少するにつれて保冷効力も低下しました。保温時と同様に、表示どおりの保冷効力を得るには規定量程度の飲料を入れる必要があります。

図4 水量と6時間後の水温(保冷時)

